

科目名	年度	レポート番号	クラス	学籍番号	名前
API 実習	2023	2	A	20122072	山口翔太

レポートは最大 5 ページ以内とします。ページ数や文字数よりも、わかりやすく書けているかどうか、点数アップの分かれ目です。  
Google スプレッドシートをもとに API を作成し、下記を行ってください。

1. Google スプレッドシートをもとに作成した API について、以下を報告すること。

(ア) 作成した API の概要

新潟県に訪れたい人や、訪れた人に対して、新潟県にはどのようなお土産があるのかを示すために作成しました。

(イ) どんなことに役立つかの説明 << 読んだ人が具体的なイメージを思い浮かべるように。

新潟県に行くことになった際に、お土産として持って帰ったら喜んでもらえそうなものを探す際に役に立つと考えます。また、URL もスプレッドシートに入れたので、興味を持ったお土産について、詳しい情報を知ることができるため、お土産選びの参考になると考えます。

(ウ) 作成した Google スプレッドシートの URL

<https://docs.google.com/spreadsheets/d/1SFHox5O4IcetSMcn4kwkT9DteA9OI5IEjSQhdgf2kOg/edit#gid=0>

(エ) API エンドポイントの URL

<https://sheetdb.io/api/v1/y8m4829q7fv9o>

2. Microsoft Learn の「Node.js と Express を使用して Web API を構築する」に取り組み、以下を報告する。

(ア) 作成したものの説明

ウェブアプリケーションと、ウェブアプリケーション上で操作できる API の作成。

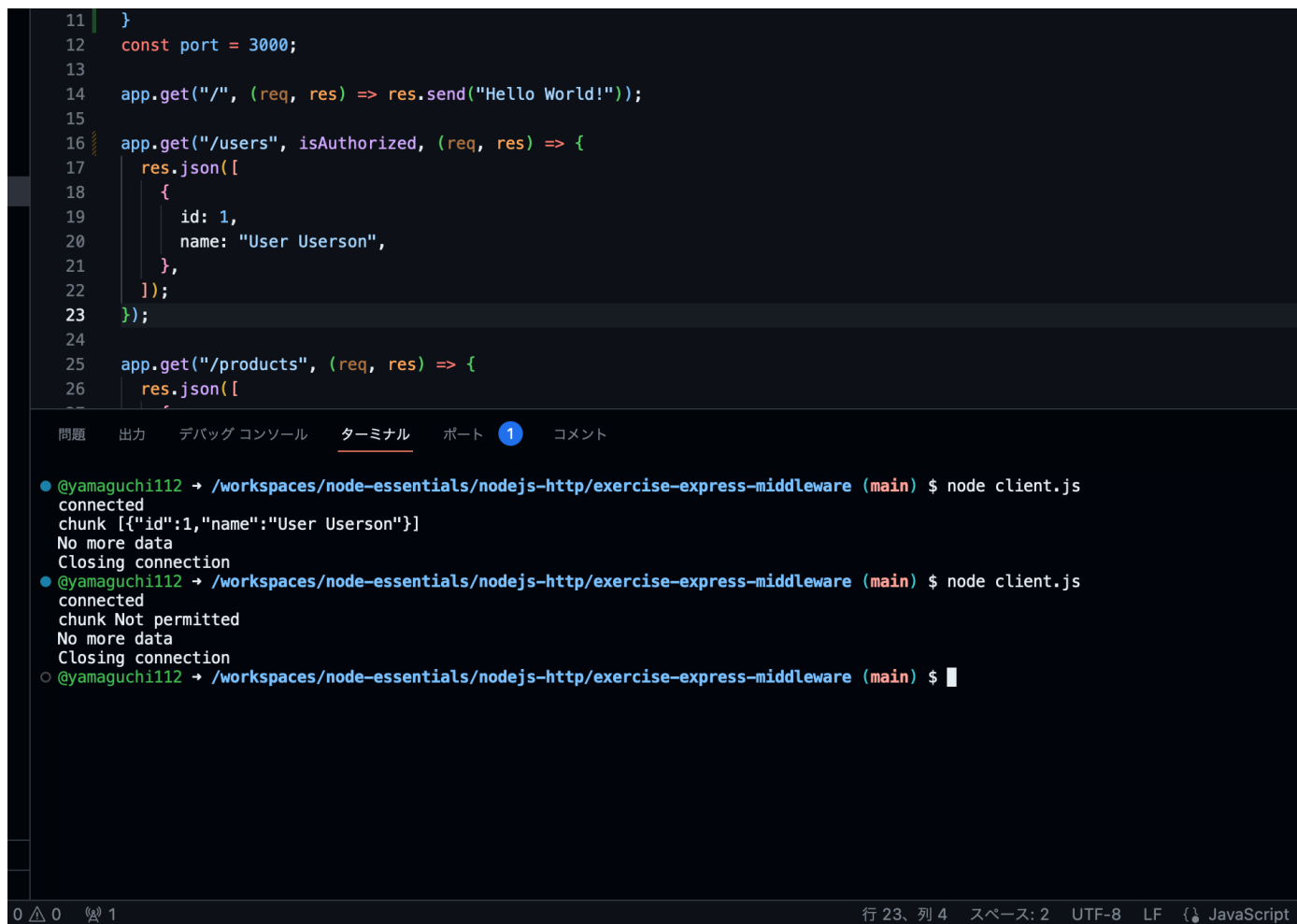
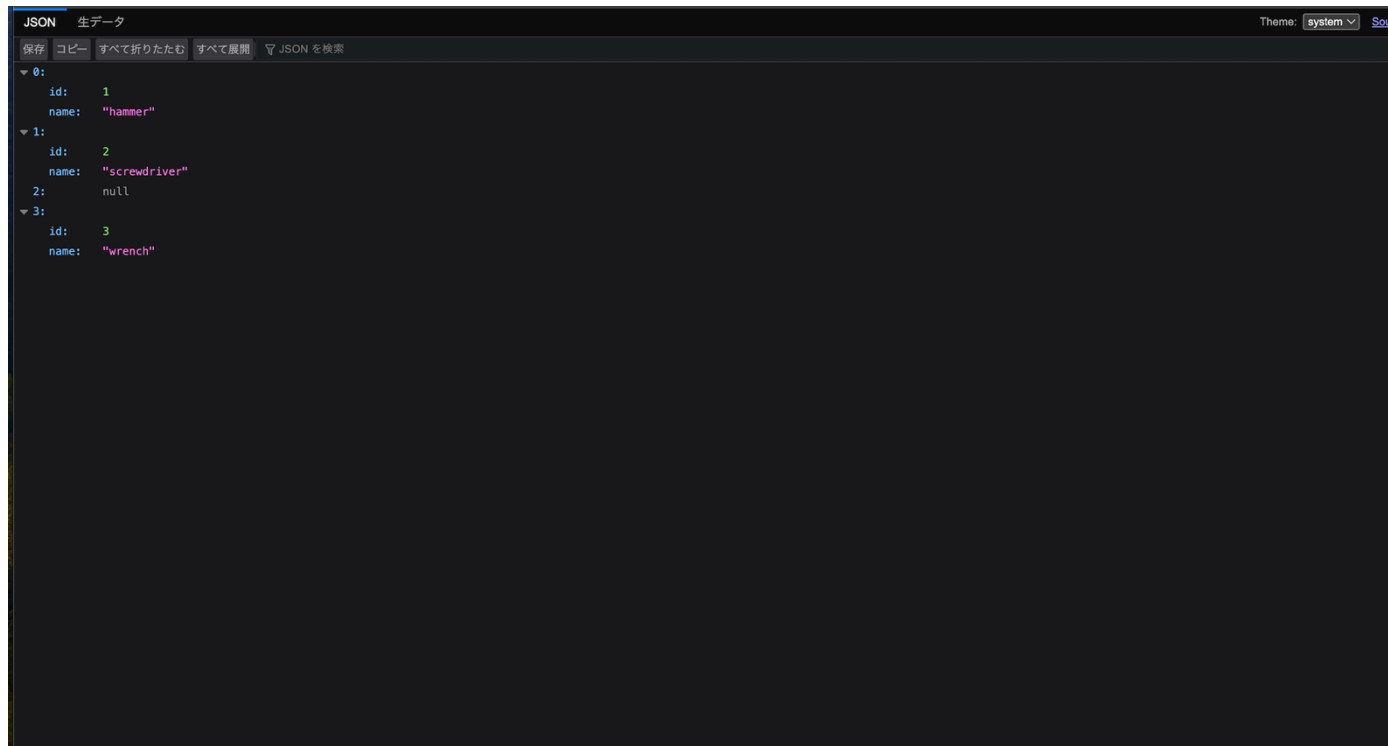
(イ) 自分が理解したこと

ウェブアプリケーションがどのように構成されているかを理解した。Node.js で HTTP 要求を処理する方法を理解した。ストリームの概念について、Node.js の基本的なデータ構造であり、データの読み取りと書き込み、メッセージや イベントの送受信を実行できるということを理解した。

(ウ) どんなことに役立つか

ウェブアプリケーションと API を構築するときに役に立つ。

(エ) 作成した WebAPI が動いていることがわかる画面ショットを貼り付けること



(オ)「知識チェック」の結果について、画面ショットを貼り付けること

learn.microsoft.com

Google Sheets: オンライン... 新潟県おすすめのお土産 - G... 開志専門職大学 - ポータル... GitHub Codespaces API 実習教材 知識チェック - Training J...

バーをリスンする

☒ アプリをインスタンス化し、サーバーをリスンする

✓ 正解です。アプリを起動して実行するには、これらの手順だけが必要です。ルートをいくつか構成することを強くお勧めします。

☐ アプリをインスタンス化し、ルートを構成し、サーバーをリスンする

☐ アプリをインスタンス化し、ルートを構成し、ミドルウェアを設定し、サーバーをリスンする

2. Express アプリから JSON 応答を送信する方法として、推奨されるのは次のどれですか？ \*

☒ 応答オブジェクトで `json()` ヘルパー メソッドを呼び出す: `res.json({ content: ' ' })`

✓ 正解です。JSON として応答を送信する方法はいくつもありますが、この方法が最も一般的であり、簡単に使用できます。

☐ `res.send({ content: ' ' })` を呼び出す

☐ `res.send(JSON.stringify({ content: ' ' }))` を呼び出す

次のいずれかの方法を使用する: `res.type('json')`、`res.type('application/json')`、`res.contentType('application/json')`、`res.format({ 'application/json': function() { res.send({} ) } })`

☐ `res.send({} ) }`

3. JSON データを含む Post 要求を処理するように Express を設定するにはどうすればよいですか？ \*

☐ `app.post(<route>, () =>{})` のように `post` メソッドを使用してルートを登録し、`req.body` オブジェクトから読み取る

☐ 本文解析ミドルウェアを構成し、`app.post(<route>, () =>{})` のように `post` メソッドを使用してルートを登録して、`req.data` オブジェクトから読み取る

☒ 先頭で `app.use(bodyParser.json())` を呼び出し、`app.post(<route>, () =>{})` のように `post` メソッドを使用してルートを登録して、`req.body` オブジェクトから読み取る